

厚生労働科学研究費 難治性疾患政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」

令和元年度 第1回総会プログラム

日 時 令和元年 7月25日(木) 9:30~17:00
7月26日(金) 9:00~11:10

会 場 コンgressクエア日本橋
コンベンションホールA・B
(〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13
東京建物日本橋ビル2F)

研究代表者 鈴木康夫
(東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター)

事務局	東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター
担当	山田 哲弘
TEL	043-462-8811 (代) TEL/ FAX : 043-462-7370
E-mail	ibd.gast@sakura.med.toho-u.ac.jp

第1回総会について

1. 演題発表について

1)【発表データの作成】

スライドは、Power Point で作成し、USB フラッシュメモリー、または CD-R に保存したものをお持ち込み下さい。(Windows, Macintosh どちらも対応可能ですが、ご自身の PC 以外の機器でも試写してからお持ち下さい。)ご自身のパソコンで発表される場合は、PC 本体持ち込みで、ご準備いただけますようお願いいたします。特に動画、音声がある場合は、PC お持ち込みを推奨いたします。

2)【口演発表・討論時間】

プロジェクト責任者の先生は、総括を各プロジェクト冒頭で発表をお願い致します。総括は 10 分、プロジェクト計画・研究成果の発表は 6 分、討論 4 分、時間厳守をお願い致します。

3)【発表データ受付】

発表 30 分前までにコンベンションホール A・B 会場前「発表データ受付」までご提出下さい。

その際、試写(出力確認)も必ず行ってください。使用したメディアは、画面確認後その場でご返却いたします。

2 日目以降のデータは、前日でも受付することが出来ます。

4)【発表データについて】

厚生労働省への報告の必要上、発表スライドファイルを当日複製させていただきますことをご了承下さい。不都合のある先生におかれましては、事前に事務局まで御連絡お願い致します。

5)【配布資料について】

資料を配布される場合には、事務局【E-mail: ibd.gast@sakura.med.toho-u.ac.jp】まで必ずご連絡をお願い致します。送付先等につきまして、ご案内いたします。

当日、持ち込みになられる場合も必ずご連絡をお願い致します。

配布部数 300 部のご用意をお願い致します。

6)【研究成果の公表について】

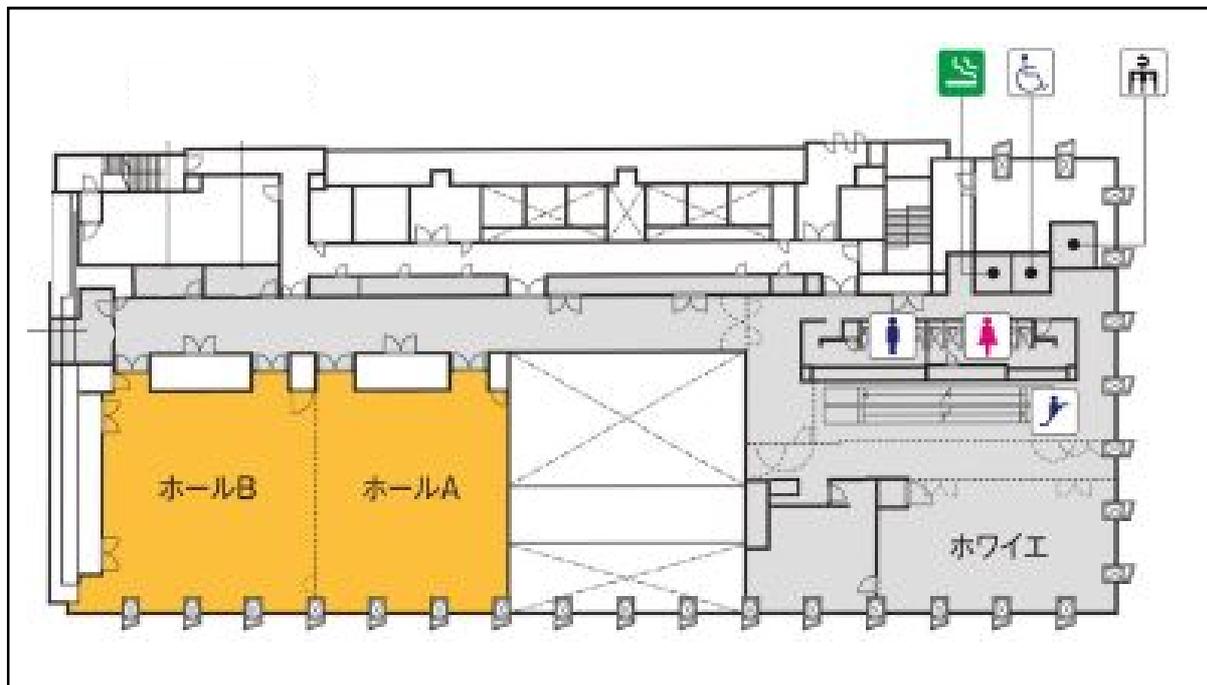
研究成果の公表の際には本調査研究班の助成を受けていることを必ず明記して下さい。

英文標記例

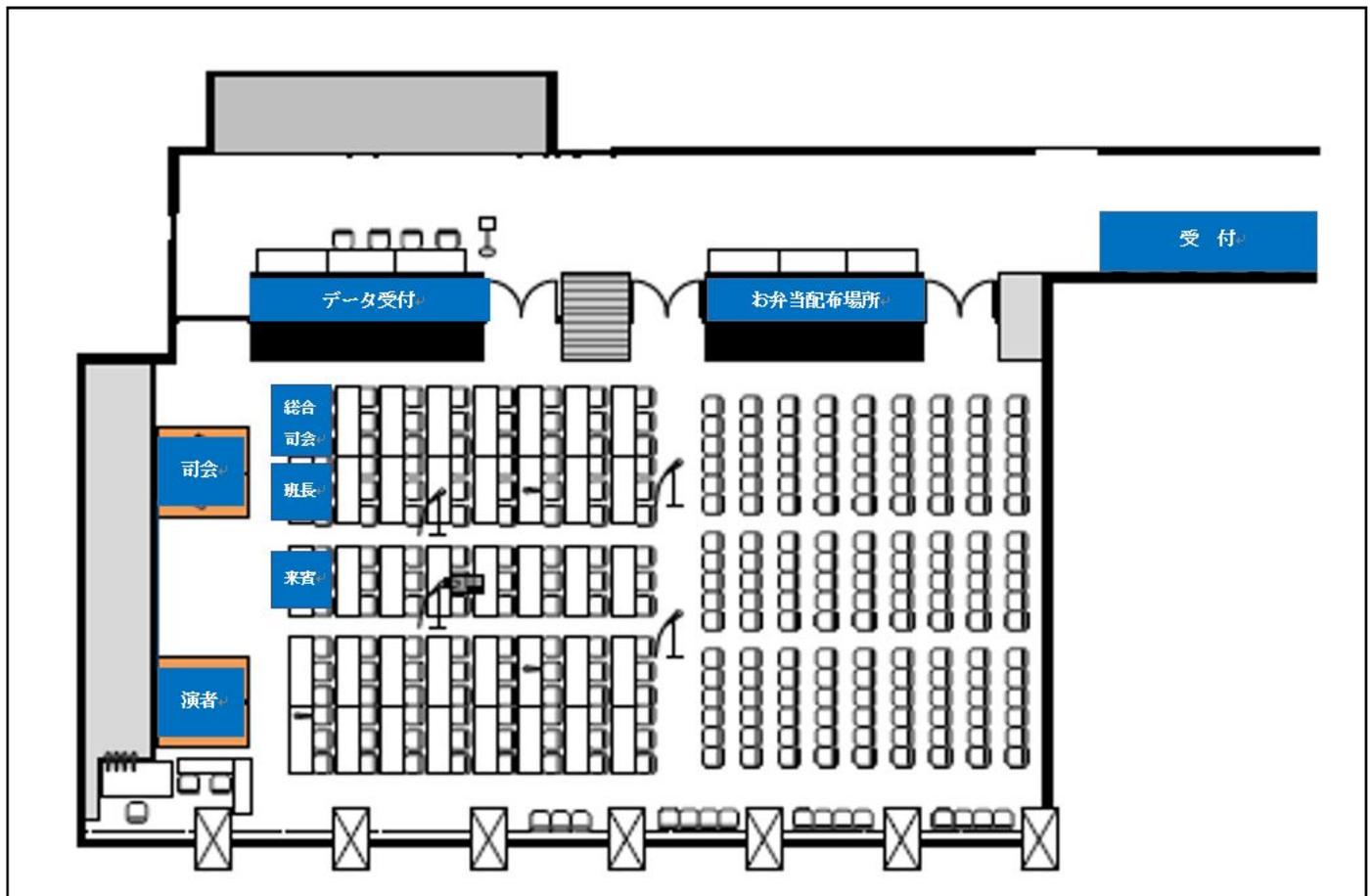
This work was supported in part by Health and Labor Sciences Research Grants for research on intractable diseases from the Ministry of Health, Labor and Welfare of Japan.

2. 会場へのご入場について

【2階】



【コンベンションホールA・B 会場内】



厚生労働科学研究費補助金難治性疾患政策研究事業
「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班
令和元年度 第1回総会プログラム

(敬称略)

令和元年7月25日(木)

開会(9:30)

. 厚生労働省健康局 難病対策課 挨拶

. 研究代表者挨拶・研究の進め方
研究代表者 鈴木 康夫

. 研究報告

1. 疫学・データベース作成プロジェクト(9:50~10:10)
総括 西脇祐司 東邦大学医学部 社会医学講座 衛生学分野(10分)

炎症性腸疾患に対する新規薬剤を対象としたレジストリ研究に向けての検討

松岡克善¹、西脇祐司²、朝倉敬子²、村上義孝³、福島浩平⁴、小林 拓⁵、長沼 誠⁶、渡辺 守⁷、日比紀文⁵、鈴木康夫⁸(東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科¹、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野²、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野³、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野⁴、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター⁵、慶應義塾大学医学部消化器内科⁶、東京医科歯科大学高等研究院⁷、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター⁸)

2. 広報活動/研究成果公表/専門医育成プロジェクト(10:10~10:40)
総括 岡崎和一 関西医科大学内科学第三講座(10分)

Web を主体とした患者・家族への情報発信と一般医の啓発・教育活動

鈴木康夫¹、竹内 健²、長堀正和³、藤谷幹浩⁴、中村志郎⁵、穂刈量太⁶、渡邊知佳子⁶、藤井久男⁷、岡崎和一⁸、二見喜太郎⁹、安藤 朗¹⁰、馬場重樹¹⁰、江崎幹宏¹¹、加藤 順¹²、長沼 誠¹³、畑 啓介¹⁴、新井勝大¹⁵(東邦大学佐倉病院 IBD センター¹、辻仲病院柏の葉 IBD センター²、東京医科歯科大学医学部附属病院 臨床試験管理センター³、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野⁴、兵庫医科大学内科学下部消化管科⁵、防衛医科大学校内科⁶、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁷、関西医科大学内科学第三講座⁸、福岡大学筑紫病院外科⁹、滋賀医科大学消化器内科¹⁰、佐賀大学医学部附属病院消化器内科¹¹、三井記念病院内視鏡部¹²、慶應義塾大学医学部 消化器内科¹³、東京大学医学部腫瘍外科¹⁴、国立成育医療研究センター消化器科¹⁵)

IBD を専門とする消化器医育成プログラムの開発

鈴木康夫¹、竹内 健²、岡崎和一³、二見喜太郎⁴、安藤 朗⁵、辻川 知之⁵、渡辺 守⁶、長堀正和⁶、松岡克善²、高後 裕⁶、蘆田知史⁷、藤谷幹浩⁸、上野伸典⁸、安藤勝祥⁸、稲場勇平⁹、中村志郎¹⁰、渡辺憲治¹⁰、福島浩平¹¹、松井敏幸¹²、平井郁仁¹²、穂刈量太¹³、金井隆典¹⁴、長沼 誠¹⁴、藤井久男¹⁵、横山 薫¹⁶、木村英明¹⁷、江崎幹宏¹⁸(東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹、東邦大学医療センター佐倉病院内科学講座²、関西医科大学内科学第三講座³、福岡大学筑紫病院外科⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、東京医科歯科大学 消化器病態学⁵、国際医療福祉大学病院消化器内科⁶、札幌徳州会病院 IBD センター⁷、旭川医科大学内科学講座 消化器血液腫瘍制御内科学分野⁸、市立旭川病院消化器病センター⁹、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科学部門¹⁰、東北大学大学院消化管再建医工学分野 分子病態外科学分野¹¹、福岡大学筑紫病院 消化器内科¹²、防衛医科大学校内科¹³、慶應義塾大学消化器内科¹⁴、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター¹⁵、北里大学医学部消化器内科¹⁶、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患センター¹⁷、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部¹⁸)

3. 新たな IBD 診断の開発 (10:40~11:00)

総括 緒方晴彦 慶應義塾大学医学部 内視鏡センター (10分)

クローン病におけるカプセル内視鏡検査の有用性・安全性に関する多施設共同前向き研究

SPREAD-J study

猿田雅之¹、櫻井俊之¹、安藤朗²、飯島英樹³、上野伸展⁴、江崎幹宏⁵、遠藤克哉⁶、大宮直木⁷、大森鉄平⁸、岡 志郎⁹、緒方晴彦¹⁰、細江直樹¹⁰、柿本一城¹¹、樋口和秀¹¹、金井隆典¹²、加藤真吾¹³、北村和哉¹⁴、小林 拓¹⁵、杉本 健¹⁶、櫻庭裕丈¹⁷、志賀永嗣¹⁸、竹島史直¹⁹、竹田津英稔²⁰、田中信治²¹、田中浩紀²²、本谷 聡²²、鳥巢剛弘²³、内藤裕二²⁴、中川倫夫²⁵、中島 淳²⁶、仲瀬裕志²⁷、長堀正和²⁸、中村志郎²⁹、渡辺憲治²⁹、中村正直³⁰、花井洋行³¹、久松理一³²、平井郁仁³³、平岡佐規子³⁴、福田勝之³⁵、藤井久男³⁶、藤谷幹浩³⁷、古田隆久³⁸、前本憲男³⁹、松井敏幸⁴⁰、山本修司⁴¹、松岡克善⁴²、松本主之⁴³、三井啓吾⁴⁴、山下真幸⁴⁵、山本博徳⁴⁶、横山 薫⁴⁷、吉田篤史⁴⁸ (東京慈恵会医科大学内科学講座消化器・肝臓内科¹、滋賀医科大学消化器内科²、大阪大学消化器内科学³、旭川医科大学地域医療支援・専門医育成推進講座⁴、佐賀大学光学診療部⁵、東北医科薬科大学消化器内科⁶、藤田医科大学消化管内科⁷、東京女子医科大学消化器内科⁸、広島大学消化器・代謝内科⁹、慶應義塾大学内視鏡センター¹⁰、大阪医科大学第二内科¹¹、慶應義塾大学消化器内科¹²、埼玉医科大学総合医療センター消化器・肝臓内科¹³、金沢大学附属病院消化器内科炎症性腸疾患センター¹⁴、北里大学研究所病院 IBD センター¹⁵、浜松医科大学第一内科・消化器内科¹⁶、弘前医科大学消化器血液内科学講座¹⁷、東北大学消化器内科¹⁸、長崎大学消化器内科¹⁹、福岡大学内視鏡部²⁰、広島大学内視鏡診療科²¹、札幌厚生病院 IBD センター²²、九州大学病態機能内科学²³、京都府立医科大学消化器内科学²⁴、千葉大学消化器内科²⁵、横浜市立大学医学部肝胆膵消化器病学²⁶、札幌医科大学消化器内科学講座²⁷、東京医科歯科大学消化器内科²⁸、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門²⁹、名古屋大学消化器内科³⁰、浜松南病院消化器病・IBD センター³¹、杏林大学第三内科学教室³²、福岡大学消化器内科³³、岡山大学病院炎症性腸疾患センター³⁴、聖路加国際病院消化器内科³⁵、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター³⁶、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野³⁷、浜松医科大学臨床研究管理センター³⁸、札幌東徳洲会病院 IBD センター³⁹、福岡大学筑紫病院臨床医学研究センター⁴⁰、京都大学消化器内科⁴¹、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁴²、岩手医科大学消化器内科学消化管分野⁴³、日本医科大学消化器内科⁴⁴、聖マリアンナ医科大学消化器・肝臓内科⁴⁵、自治医科大学消化器内科学部門⁴⁶、北里大学 消化器内科⁴⁷、大船中央病院光学診療部⁴⁸)

【誌上発表】クローン病粘膜病変に対するバルーン小腸内視鏡と MRE の比較試験 Progress Study

:国内多施設共同試験

渡辺憲治¹、竹内 健²、矢野智則³、長沼 誠⁴、奥田茂男⁵、大塚和朗⁶、北詰良雄⁷、平井郁仁⁸、村上義孝⁹、屋代香絵¹⁰、櫻庭裕丈¹¹、石黒 陽¹²、加藤真吾¹³、馬場重樹¹⁴、安藤 朗¹⁴、渡辺知佳子¹⁵、穂苅量太¹⁵、内山和彦¹⁶、高木智久¹⁶、内藤裕二¹⁶、長坂光夫¹⁷、大宮直木¹⁷、前本篤男¹⁸、吉田篤史¹⁹、遠藤 豊¹⁹、高津典孝²⁰、細江直樹²¹、宮寄孝子²²、樋田信幸²²、中村志郎²²、山本博徳³、金井隆典⁴、上野文昭¹⁹、渡辺守⁶、鈴木康夫²³ (兵庫医科大学腸管病態解析学¹、辻仲病院柏の葉消化器内科・IBD センター²、自治医科大学消化器内科³、慶應義塾大学医学部消化器内科⁴、慶應義塾大学医学部放射線診断科⁵、東京医科歯科大学消化器内科⁶、東京医科歯科大学放射線科⁷、福岡大学医学部消化器内科学講座⁸、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野⁹、大船中央病院放射線科¹⁰、弘前大学医学部消化器血液内科学講座¹¹、国立病院機構弘前病院臨床研究部¹²、埼玉医科大学総合医療センター消化器肝臓内科¹³、滋賀医科大学消化器内科¹⁴、防衛医科大学校消化器内科¹⁵、京都府立医科大学消化器内科¹⁶、藤田医科大学消化管内科学¹⁷、札幌東徳洲会病院 IBD センター¹⁸、大船中央病院消化器 IBD センター¹⁹、福岡大学筑紫病院消化器内科²⁰、慶應義塾大学医学部内視鏡センター²¹、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門²²、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科²³)

【誌上発表】炎症性腸疾患に対する通常内視鏡診断への AI 適応研究

高林 馨¹、緒方晴彦¹、福原佳代子¹、細江直樹¹、南木康作²、三上洋平²、水野慎大²、筋野智久²、長沼誠²、金井隆典²、小林 拓³、中野 雅³、日比紀文³、松岡克善⁴、河村卓二⁵、田中聖人⁵、佐藤真一⁶(慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター³、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁴、日本赤十字社京都第二赤十字病院⁵、国立情報学研究所⁶)

【誌上発表】潰瘍性大腸炎の組織学的治癒予測のための内視鏡自動診断システムの開発(UC-CAD study)

○牟田口 真¹、緒方晴彦¹、高林 馨¹、細江直樹¹、福原佳代子²、水野慎大³、長沼 誠³、金井隆典³、渡辺英伸⁴、前田康晴⁵、笹沼靖子⁵、森 悠一⁵、三澤将史⁵、小形典之⁵、工藤進英⁵、竹中健人⁶、大塚和朗⁶、渡辺 守⁶、伊東隼人⁷、森 健策⁷(慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、慶應義塾大学医学部予防医療センター²、慶應義塾大学医学部消化器内科³、新潟大学名誉教授⁴、昭和大学横浜市北部病院⁵、東京医科歯科大学医学部附属病院消化器内科⁶、名古屋大学大学院情報学研究科 知能システム学専攻⁷)

4. 希少疾患プロジェクト(11:00~12:00)

総括 松本主之 岩手医科大学医学部内科学講座 消化器内科消化管分野(10分)

非特異性多発性小腸潰瘍症の臨床徴候について

梅野淳嗣¹、冬野雄太¹、鳥巢剛弘¹、江崎幹宏²、梁井俊一³、大宮直木⁴、久松理一⁵、渡辺憲治⁶、細江直樹⁷、緒方晴彦⁷、平井郁仁⁸、久部高司⁹、松井敏幸⁹、八尾恒良¹⁰、松本主之³、CEAS study group(九州大学大学院病態機能内科学¹、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部²、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野³、藤田医科大学消化管内科学⁴、杏林大学医学部消化器内科学⁵、兵庫医科大学腸管病態解析学⁶、慶應義塾大学医学部内視鏡センター⁷、福岡大学医学部消化器内科学講座⁸、福岡大学筑紫病院消化器内科⁹、佐田厚生会 佐田病院¹⁰)

Cronkhite Canada 症候群の内視鏡アトラス作成

八月朔日秀明¹、東山正明¹、穂苅良太¹(防衛医科大学校 内科学2¹)

腸管型ベーチェット診療ガイドライン作成プロジェクト(鈴木班・水木班合同プロジェクト)

○久松理一¹、井上 詠²、渡辺憲治³、谷田諭史⁴、国崎玲子⁵、小林清典⁶、長堀正和⁷、新井勝大⁸、内野 基⁹、小金井一隆¹⁰、小林 拓¹¹、岳野光洋¹²、上野文昭¹³、松本主之¹⁴、鈴木康夫¹⁵(杏林大学医学部第三内科学¹、慶應義塾大学医学部予防医療センター²、兵庫医科大学腸管病態解析学³、名古屋市立大学医学部消化器内科⁴、横浜市立大学附属市民総合医療センターIBDセンター⁵、北里大学医学部新世紀医療開発センター⁶、東京医科歯科大学医学部消化器内科⁷、国立成育医療研究センター消化器科⁸、兵庫医科大学病院炎症性腸疾患外科⁹、横浜市民病院 炎症性腸疾患科¹⁰、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹¹、日本医科大学リウマチ膠原病科¹²、大船中央病院¹³、岩手医科大学消化管内科学¹⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター¹⁵)

本邦における腸管型ベーチェット病(含む、単純性潰瘍)に対する外科治療の現況調査

小金井一隆¹、内野 基²、杉田 昭³、二見喜太郎⁴、根津理一郎⁵、藤井久男⁶、舟山裕士⁷、池内浩基²、福島浩平⁸、高橋賢一⁹、木村英明¹⁰、畑 啓介¹¹、篠崎 大¹²、荒木俊光¹³、水島恒和¹⁴、小山文一¹⁵、板橋道朗¹⁶、亀山仁史¹⁷、久松理一¹⁸(横浜市立市民病院炎症性疾患科¹、兵庫医科大学炎症性腸疾患講座²、横浜市民病院臨牀研究部³、福岡大学筑紫病院外科⁴、西宮市立中央病院外科⁵、吉田病院消化器内視鏡・IBDセンター⁶、仙台赤十字病院外科⁷、東北大学分子病態外科⁸、東北労災病院大腸肛門病センター⁹、横浜市立大学市民総合医療センター炎症性腸疾患センター¹⁰、東京大学大腸肛門外科¹¹、東京大学医科学研究所病院腫瘍外科¹²、三重大学消化管小児外科¹³、大阪大学消化器外科¹⁴、奈良県立医大消化器・総合外科¹⁵、東京女子医大消化器一般外科¹⁶、新潟大学消化器・一般外科¹⁷、杏林大学第三内科¹⁸)

家族性地中海熱関連腸炎の診断法確立・機序解明

仲瀬裕志¹、飯田智也¹、平山大輔¹、風間友江¹、横山佳浩¹、櫻井晃弘²、久松理一³、松本主之⁴、江崎幹宏⁵、国崎玲子⁶、本澤有介⁷、大宮美香⁸、荒木寛司⁹、渡辺憲治¹⁰、田中浩紀¹¹、小林 拓¹²、日比紀文¹²、上野進展¹³、大井秀久¹⁴、細見周平¹⁵、新井勝大¹⁶、安藤 朗¹⁷、石川 大¹⁸、白木 学¹⁹、松田耕一郎²⁰、横山純二²¹、後藤田卓志²²、武田輝²³、大宮直木²⁴、穂刈量太²⁵、荒木俊光²⁶、鈴木康夫²⁷(札幌医科大学 消化器内科学講座¹、札幌医科大学 遺伝医学²、杏林大学第3内科³、岩手医科大学消化器内科消化管分野⁴、九州大学大学院 病態機能内科学 第二内科⁵、横浜市立大学附属 市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター⁶、京都大学医学部附属病院 内視鏡部⁷、関西医科大学内科学第3講座⁸、岐阜大学医学部 光学医療診療部⁹、兵庫医科大学腸管病態解析学¹⁰、札幌厚生病院 IBD センター¹¹、北里大学大学院医療系研究科炎症性腸疾患先進治療センター¹²、旭川医大第3内科¹³、いずろ今村病院¹⁴、大阪市立大学医学部附属病院消化器内科¹⁵、国立成育医療研究センター消化器科¹⁶、滋賀医科大学医学部 消化器内科¹⁷、順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科¹⁸、東北労災病院 胃腸内科¹⁹、富山県立中央病院 消化器内科²⁰、新潟大学医歯学総合病院 光学医療診療部²¹、日本大学病院 消化器内科²²、福岡大学筑紫病院 消化器内科²³、藤田保健衛生大学病院 消化器内科²⁴、防衛医科大学校病院 消化器内科²⁵、三重大学病院 消化管外科²⁶、東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科学²⁷)

【誌上発表】chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene (CEAS)の胃粘膜病変の内視鏡像と病理学的な特徴の解明

細江直樹¹、緒方晴彦¹、長沼 誠²、金井隆典²、久松理一³、大宮直木⁴、安川重義⁵、平井郁仁⁶、田邊 寛⁷、岩下明徳⁷、平野敦士⁸、梅野淳嗣⁸、江崎幹宏⁹、松本主之¹⁰(慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹、慶應義塾大学医学部消化器内科²、杏林大学医学部第三内科学³、藤田保健衛生大学消化管内科⁴、福岡大学筑紫病院消化器内科⁵、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター⁶、福岡大学筑紫病院病理部⁷、九州大学病態機能内科学⁸、佐賀大学医学部付属病院光学医療診療部⁹、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野¹⁰)

【誌上発表】特殊型炎症性腸疾患におけるアダリムマブとステロイドの前向き無作為化比較試験 Castle Study：国内多施設共同試験

渡辺憲治¹、松本主之²、仲瀬裕志³、久松理一⁴、平井郁仁⁵、小林清典⁶、国崎玲子⁷、長堀正和⁸、竹内健⁹、大藤さとし¹⁰、福島若葉¹⁰、梁井俊一²、林田真理⁴、稲場勇平¹¹、藤谷幹浩¹¹、櫻庭裕丈¹²、角田洋一¹³、勝野達郎¹⁴、大森鉄平¹⁵、小林 拓¹⁶、秋山純一¹⁷、本田 穰¹⁸、佐藤 公¹⁹、佐々木誠人²⁰、谷田諭史²¹、加賀谷尚史²²、馬場重樹²³、安藤 朗²³、深田憲将²⁴、岡崎和一²⁴、細見周平²⁵、鎌田紀子²⁵、宮寄孝子²⁶、樋田信幸²⁶、中村志郎²⁶、松浦 稔²⁷、平田 敬²⁸、石田哲也²⁹、松本吏弘³⁰、金城福則³¹、金城 徹³²、上野義隆³³、田中信治³³、渡辺知佳子³⁴、穂刈量太³⁴、高橋素真³⁵、進士宏宏³⁶、北村和哉³⁷、辻川知之³⁸、山下真幸³⁹、長沼 誠⁴⁰、櫻井俊之⁴¹、猿田雅之⁴¹、田中浩紀⁴²、本谷 聡⁴²、遠見慎一郎⁴³、岸 昌廣⁴⁴、高津典孝⁴⁴、宮川一平⁴⁵、田中良哉⁴⁵、日暮琢磨⁴⁶、中島 淳⁴⁶、桐野洋平⁴⁷、水木信久⁴⁸、山田哲弘⁴⁹、松岡克善⁴⁹、鈴木康夫⁴⁹、上野文昭⁵⁰、日比紀文¹⁶、渡辺 守⁸(兵庫医科大学腸管病態解析学¹、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野²、札幌医科大学消化器内科³、杏林大学医学部第三内科学⁴、福岡大学医学部消化器内科学講座⁵、北里大学新世紀医療開発センター⁶、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患センター⁷、東京医科歯科大学消化器病態学⁸、辻仲病院柏の葉消化器内科・IBD センター⁹、大阪市立大学大学院医学研究科公衆衛生学¹⁰、旭川医科大学内科学講座消化器血液腫瘍制御内科学分野¹¹、弘前大学大学院医学研究科消化器血液内科学講座¹²、東北大学消化器内科¹³、千葉大学消化器内科¹⁴、東京女子医科大学消化器病センター¹⁵、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹⁶、国立国際医療研究センター消化器内科¹⁷、新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野¹⁸、山梨大学医学部第1内科¹⁹、愛知医科大学消化器内科²⁰、名古屋市立大学消化器内科²¹、国立病院機構金沢医療センター消化器科²²、滋賀医科大学消化器内科²³、関西医科大学消化器肝臓内科²⁴、大阪市立大学大学院医学研究科消化器内科学²⁵、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門²⁶、京都大学消化器内科²⁷、松山赤十字病院胃腸センター²⁸、石田消化器 IBD ク

リニック²⁹、自治医科大学附属さいたま医療センター消化器科³⁰、浦添総合病院消化器内科³¹、琉球大学光学医療診療部³²、広島大学内視鏡診療科³³、防衛医科大学消化器内科³⁴、香川県立中央病院消化器内科³⁵、諏訪赤十字病院腫瘍内科³⁶、金沢大学消化器内科炎症性腸疾患センター³⁷、国立病院機構東近江総合医療センター消化器内科³⁸、聖マリアンナ医科大学消化器内科³⁹、慶應義塾大学医学部消化器内科⁴⁰、東京慈恵医科大学消化器・肝臓内科⁴¹、JA北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター⁴²、大阪赤十字病院消化器内科⁴³、福岡大学筑紫病院消化器内科⁴⁴、産業医科大学医学部第1内科学講座⁴⁵、横浜市立大学肝胆膵消化器病学⁴⁶、横浜市立大学血液・免疫・感染症内科学⁴⁷、横浜市立大学大学眼科学⁴⁸、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁴⁹、大船中央病院消化器 IBD センター⁵⁰)

----- 昼食 12:00~13:00 -----

5. 腸内細菌プロジェクト(13:00~13:10)

総括 安藤 朗 滋賀医科大学 消化器内科

【誌上発表】クローン病に対する糞便バンクを用いた糞便移植の有効性に関する多施設無作為割付対照比較試験

大宮直木¹、尾崎隼人¹、長坂光夫¹、安藤 朗²、馬場重樹²、金子周一³、北村和哉³、中村志郎⁴、渡辺憲治⁴、⁵、山本博徳⁵、矢野智則⁵(藤田保健衛生大学消化管内科¹、滋賀医科大学消化器内科²、金沢大学消化器内科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患内科⁴、自治医科大学消化器内科学部門⁵)

6. IBDの病診連携を構築するプロジェクト(13:10~13:25)

総括 久松理一 杏林大学医学部消化器内科学

IBDの病診連携を構築するプロジェクト

○久松理一¹、猿田雅之²、長堀正和³、池内浩基⁴、鈴木康夫⁵(杏林大学医学部第三内科学¹、東京慈恵医科大学 消化器・肝臓内科²、東京医科歯科大学消化器内科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター⁵)

7. 治療指針・ガイドラインの改訂(13:25~15:00)

総括 中村志郎 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座内科部門(10分)

総括 杉田 昭 横浜市立市民病院 臨床研究部 炎症性腸疾患科(15分)

治療の標準化を目指したクローン病治療指針の改訂

中村志郎¹、松井敏幸²、杉田 昭³、余田 篤⁴、安藤 朗⁵、金井隆典⁶、長堀正和⁷、樋田信幸¹、穂苅量太⁸、渡辺憲治⁹、仲瀬裕志¹⁰、竹内 健¹¹、上野義隆¹²、新井勝大¹³、虻川大樹¹⁴、福島浩平¹⁵、二見喜太郎¹⁶、鈴木康夫¹⁷(兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹、福岡大学筑紫病院消化器内科²、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター³、大阪医科大学小児科⁴、滋賀医科大学消化器内科⁵、慶應義塾大学消化器内科⁶、東京医科歯科大学消化器内科⁷、防衛医科大学校消化器内科⁸、兵庫医科大学 腸管病態解析学講座⁹、札幌医科大学 消化器内科学講座¹⁰、辻中病院柏の葉 消化器内科・IBD センター¹¹、広島原爆障害対策協議会 健康管理・増進センター¹²、国立生育医療研究センター 器官病態内科部 消化器科¹³、宮城県立こども病院 総合診療科・消化器科¹⁴、東北大学大学院分子病態外科・消化管再建医工学¹⁵、福岡大学筑紫病院臨床医学研究センター外科¹⁶、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹⁷)

治療の標準化を目指した潰瘍性大腸炎治療指針の改訂

○久松理一¹、平井郁仁²、小金井一隆³、新井勝大⁴、長沼 誠⁵、松浦 稔¹、虻川大樹⁶、松岡克善⁷、猿田雅之⁸、畑 啓介⁹、加藤真吾¹⁰、加藤 順¹¹、仲瀬裕志¹²、中村志郎¹³、鈴木康夫¹⁴(杏林大学医学部第三内科

学¹、福岡大学筑紫病院消化器内科²、横浜市民病院炎症性腸疾患科³、国立成育医療研究センター消化器科⁴、慶應義塾大学消化器内科⁵、宮城県立こども病院総合診療科・消化器科⁶、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁷、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科⁸、東京大学医学部 腫瘍外科⁹、埼玉医科大学消化器・肝臓内科¹⁰、三井記念病院消化器内科¹¹、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹³、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター¹⁴)

潰瘍性大腸炎、クローン病外科治療指針の改訂

杉田 昭¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、舟山裕士⁵、福島浩平⁶、池内浩基⁷、板橋道朗⁸、小金井一隆¹、篠崎 大⁹、畑 啓介¹⁰、亀山仁史¹¹、楠 正人¹²、佐々木 巖¹³、中村志郎¹⁴、平井郁仁¹⁵(横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁴、仙台赤十字病院外科⁵、東北大学分子病態外科⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学外科部門⁷、東京女子医大消化器・一般外科⁸、東大医科学研究所病院腫瘍外科⁹、東京大学大腸肛門外科¹⁰、新潟大学消化器・一般外科¹¹、三重大学消化管 小児外科学¹²、みやぎ健診プラザ¹³、兵庫医科大学内科学下部消化管科¹⁴、福岡大学病院消化器内科¹⁵)

Crohn 病手術例の再発危険因子の検討 prospective study

杉田 昭¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、舟山裕士⁵、福島浩平⁶、池内浩基⁷、板橋道朗⁸、小金井一隆¹、篠崎 大⁹、畑 啓介¹⁰、亀山仁史¹¹、楠 正人¹²、佐々木 巖¹³、村上義孝¹⁴、西脇祐司¹⁵(横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁴、仙台赤十字病院外科⁵、東北大学分子病態外科⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学外科部門⁷、東京女子医大消化器・一般外科⁸、東大医科学研究所病院腫瘍外科⁹、東京大学大腸肛門外科¹⁰、新潟大学消化器・一般外科¹¹、三重大学消化管、小児外科学¹²、みやぎ健診プラザ¹³、東邦大学医学部社会医学講座医療統計学分野¹⁴、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹⁵)

炎症性腸疾患外科治療の確化プロジェクト

杉田 昭¹、二見喜太郎²、根津理一郎³、藤井久男⁴、舟山裕士⁵、福島浩平⁶、池内浩基⁷、板橋道朗⁸、長沼 誠¹⁶、中村志郎¹⁷、小金井一隆¹、篠崎 大⁹、畑 啓介¹⁰、亀山仁史¹¹、楠 正人¹²、佐々木 巖¹³、長堀正和¹⁴、平井郁仁¹⁵(横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、西宮市立中央病院外科³、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター⁴、仙台赤十字病院外科⁵、東北大学分子病態外科⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学外科部門⁷、東京女子医大消化器・一般外科⁸、東大医科学研究所病院腫瘍外科⁹、東京大学大腸肛門外科¹⁰、新潟大学消化器・一般外科¹¹、三重大学消化管 小児外科学¹²、みやぎ健診プラザ¹³、東京医科歯科大学消化器内科¹⁴、福岡大学消化器内科¹⁵、慶應義塾大学消化器内科¹⁶、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁷)

インフリキシマブ治療によって寛解維持された潰瘍性大腸炎患者に対するインフリキシマブ治療の中止および継続群の寛解維持率比較研究 (HAYABUSA) ~ 結果報告 ~

○小林 拓¹、久松理一²、松本主之³、本谷 聡⁴、仲瀬裕志⁵、渡辺憲治⁶、平井郁仁⁷、田中正則⁸、渡辺 守⁹、日比紀文¹(北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹、杏林大学消化器内科²、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科・消化管分野³、JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター⁴、札幌医科大学消化器内科⁵、兵庫医科大学腸管病態解析学⁶、福岡大学消化器内科⁷、弘前市立病院臨床検査科⁸、東京医科歯科大学⁹)

潰瘍性大腸炎におけるブデソニド注腸フォーム剤寛解導入療法後のメサラジン注腸製剤寛解維持療法の有用性の検討：国内多施設共同前向きランダム化比較試験；STABILITY study

渡辺憲治¹、長沼 誠²、小林清典³、竹内 健⁴、平井郁仁⁵、江崎幹宏⁶、井桁正堯⁷、坂井千秋⁸、青山伸郎⁹、西下正和¹⁰、細見周平¹¹、鎌田紀子¹¹、大森鉄平¹²、柿本一城¹³、馬場重樹¹⁴、安藤 朗¹⁴、野崎良一

15、長坂光夫¹⁶、大宮直木¹⁶、高津典孝¹⁷、藤井久男¹⁸、都築義和¹⁹、藤森絢子²⁰、宮寄孝子²¹、樋田信幸²¹、中村志郎²¹（兵庫医科大学腸管病態解析学¹、慶應大学病院消化器内科²、北里大学新世紀医療開発センター³、辻仲病院柏の葉消化器内科・IBDセンター⁴、福岡大学医学部消化器内科学講座⁵、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部⁶、兵庫医科大学データサイエンス部門⁷、兵庫医科大学臨床研究支援センター⁸、青山内科クリニック⁹、西下胃腸病院¹⁰、大阪市立大学消化器内科学¹¹、東京女子医科大学消化器内科¹²、大阪医科大学第二内科¹³、滋賀医科大学消化器内科¹⁴、高野会高野病院消化器内科¹⁵、藤田医科大学消化器内科学¹⁶、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁷、吉田病院消化器内視鏡・IBDセンター¹⁸、埼玉医科大学消化器内科¹⁹、香川大学医学部消化器神経内科²⁰、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門²¹）

【誌上発表】クローン病再手術率の時代的変遷

畑 啓介¹、石原聡一郎¹、杉田 昭²、池内浩基³、福島浩平⁴、二見喜太郎⁵、楠 正人⁶、小山文一⁷、水島恒和⁸、板橋道朗⁹、木村英明¹⁰、安藤 朗¹¹、岡崎和一¹²、緒方晴彦¹³、金井隆典¹⁴、猿田雅之¹⁵、清水俊明¹⁶、仲瀬裕志¹⁷、中野 雅¹⁸、中村志郎¹⁹、長堀正和²⁰、西脇祐司²¹、久松理一²²、平井郁仁²³、穂刈量太²⁴、松岡克善²⁵、松本主之²⁶、鈴木康夫²⁷（東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹、横浜市立市民病院炎症性腸疾患科²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座³、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野⁴、福岡大学筑紫病院外科⁵、三重大学大学院医学系研究科生命医学専攻臨床医学系講座消化管・小児外科学⁶、奈良県立医科大学消化器・総合外科⁷、大阪大学炎症性腸疾患治療学寄附講座⁸、東京女子医科大学消化器・一般外科⁹、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患（IBD）センター¹⁰、滋賀医科大学消化器内科¹¹、関西医科大学内科学第三講座（消化器肝臓内科）¹²、慶應義塾大学医学部内視鏡センター¹³、慶應義塾大学医学部消化器内科¹⁴、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科¹⁵、順天堂大学医学部小児科学教室¹⁶、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹⁷、北里大学北里研究所病院消化器内科¹⁸、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁹、東京医科歯科大学医学部附属病院 臨床試験管理センター²⁰、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野²¹、杏林大学医学部消化器内科学²²、福岡大学医学部消化器内科²³、防衛医科大学校消化器内科²⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 内科学講座²⁵、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野²⁶、東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター²⁷）

8. IBDの特殊型（15：00～16：00）

総括 清水俊明 順天堂大学医学部小児科学教室（10分）

総括 穂刈量太 防衛医科大学校 消化器内科（10分）

小児期発症炎症性腸疾患患者の理想的なトランジションを目指して

熊谷秀規¹、清水俊明²、工藤孝広²、内田恵一²、国崎玲子³、杉田 昭⁴、大塚宜一²、新井勝大⁶、窪田 満⁷、田尻 仁⁸、鈴木康夫⁹（自治医科大学小児科学¹、順天堂大学小児科²、三重大学小児外科³、横浜市立大学市民総合医療センター炎症性腸疾患センター⁴、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター⁵、国立成育医療研究センター消化器科⁶、国立成育医療研究センター総合診療部⁷、大阪府立急性期・総合医療センター小児科⁸、東邦大学佐倉病院 IBDセンター

本邦における超早期発症型炎症性腸疾患（VE0-IBD）の実態解明と診断基準の作成

新井勝大¹、清水俊明²、工藤孝広²、石毛 崇³、清水泰岳¹、細井賢二²、大塚宜一²、内田恵一⁴、田尻 仁⁵、鈴木康夫⁶（国立成育医療研究センター消化器科¹、順天堂大学小児科²、群馬大学小児科³、三重大学大学院消化管・小児外科⁴、大阪府立急性期総合医療センター小児科⁵、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁶）

慢性肉芽腫症に関連する腸炎患者を対象としたサリドマイド口腔内崩壊錠のプラセボ対照二重盲検比較試験

新井勝大¹、河合利尚²、清水俊明³、鈴木康夫⁴（国立成育医療研究センター消化器科¹、同免疫科²、順天堂大学小児科³、東邦大学医療センター佐倉病院 IBDセンター⁴）

妊娠出産の転帰と治療内容に関する多施設共同研究

穂苅量太¹、渡辺知佳子¹、高本俊介¹、三浦総一郎¹、本谷 聡²、松本主之³、梁井俊一³、長堀正和⁴、藤井俊光⁴、金井隆典⁵、長沼 誠⁵、日比紀文⁶、小林 拓⁶、米沢麻利亜⁷、吉村直樹⁸、杉田 昭⁹、小金井一隆⁹、国崎玲子¹⁰、小林清典¹¹、横山 薫¹¹、中村志郎¹²、渡辺憲治¹²、安藤 朗¹³、山上博一¹⁴、北村和哉¹⁵、加賀谷尚史¹⁶、石原俊治¹⁷、松井敏幸¹⁸ (防衛医科大学校内科¹、札幌厚生病院 IBD センター²、岩手医科大学 内科学講座 消化器内科消化管分野³、東京医科歯科大学 消化器内科⁴、慶應義塾大学医学部 消化器内科⁵、北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター⁶、東京女子医科大学 IBD センター (消化器内科⁷)、東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患センター⁸、横浜市民病院 炎症性腸疾患センター⁹、横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター¹⁰、北里大学病院 消化器内科¹¹、兵庫医科大学 内科学下部消化管科¹²、滋賀医科大学 消化器内科¹³、兵庫医科大学 腸管病態解析学¹⁴、金沢大学附属病院 消化器内科¹⁵、金沢医療センター 消化器内科¹⁶、島根医科大学 消化器内科¹⁷、福岡大学筑紫病院 消化器内科¹⁸)

9. 合併症・副作用対策プロジェクト (16:00~17:00)

総括 猿田雅之 東京慈恵会医科大学 消化器・肝臓内科 (10分)

総括 池内浩基 兵庫医科大学 炎症性腸疾患学外科部門 (10分)

クローン病術後吻合部潰瘍に関する調査研究

小山文一¹、植田 剛²、藤井久男³、杉田 昭⁴、池内浩基⁵、福島浩平⁶、畑 啓介⁷、荒木俊光⁸、板橋道朗⁹、篠崎 大¹⁰、楠 正人⁸、小金井一隆⁴、内野 基⁵、渡辺和宏⁶、品川貴秀⁷、高橋賢一¹¹、根津理一郎¹²、橋本可成¹³、舟山裕士¹⁴、水島恒和¹⁵、飯島英樹¹⁶、山本博徳¹⁷、加藤 順¹⁸、小林 拓¹⁹、藤谷幹浩²⁰、佐々木誠人²¹、松岡克善²²、竹中健人²²、田中信治²³、上野義隆²³、東 大二郎²⁴、二見喜太郎² (奈良県立医科大学 附属病院中央内視鏡部¹、奈良県立医科大学消化器・総合外科²、吉田病院消化器内視鏡・IBD センター³、横浜市立市民病院炎症性腸疾患センター⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患外科⁵、東北大学大学院消化管再建医工学・分子病態外科学分野⁶、東京大学大腸肛門外科⁷、三重大学消化管・小児外科学⁸、東京女子医科大学第二外科⁹、東京大学医科学研究所附属病院外科¹⁰、東北労災病院大腸肛門外科¹¹、西宮市立中央病院外科¹²、順心病院消化器センター¹³、仙台赤十字病院外科¹⁴、大阪大学消化器外科¹⁵、大阪大学消化器内科¹⁶、自治医科大学消化器内科¹⁷、和歌山県立医科大学消化器内科¹⁸、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療センター¹⁹、旭川医科大学消化器内科²⁰、愛知医科大学消化管内科²¹、東京医科歯科大学消化器内科²²、広島大学病院内視鏡診療科²³、福岡大学筑紫病院外科²⁴)

炎症性腸疾患における血栓症発症の予防・治療に関する研究

藤谷幹浩¹、安藤勝祥¹、稲場勇平²、野村好紀¹、上野伸展¹、盛一健太郎¹、前本篤男³、蘆田知史⁴、高後 裕⁵、仲瀬裕志⁶、山田 聡⁷、田中一之⁸ (旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野¹、市立旭川病院消化器病センター²、札幌東徳州会病院 IBD センター³、札幌徳州会病院 IBD センター⁴、国際医療福祉大学病院消化器内科⁵、札幌医科大学消化器・免疫・リウマチ内科学講座⁶、京都大学消化器内科⁷、旭川厚生病院消化器科⁸)

炎症性腸疾患における骨・関節合併症の実態調査

猿田雅之¹、櫻井俊之¹、冨田哲也² (東京慈恵会医科大学内科学講座消化器・肝臓内科¹、大阪大学大学院医学系研究科運動器バイオマテリアル学²)

潰瘍性大腸炎治療例の予後 QOL の観点から (prospective study)

杉田 昭¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、水島恒和⁷、楠 正人⁸、畑 啓介⁹、福島浩平¹⁰、小金井一隆¹、佐々木 巖¹¹、松岡克善¹²、平井郁仁¹³、長堀正和¹⁴、中村志郎¹⁵、橋本秀樹¹⁶ (横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、仙台赤十字病院外科³、兵庫医科大学

学炎症性腸疾患学外科部門⁴、西宮市立中央病院外科⁵、東京女子医大消化器・一般外科⁶、大阪大学消化器外科⁷、三重大学消化管、小児外科学⁸、東京大学大腸肛門外科⁹、東北大学分子病態外科¹⁰、みやぎ健診プラザ¹¹、東邦大学佐倉病院消化器内科¹²、福岡大学消化器内科¹³、東京医科歯科大学消化器内科¹⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁵、東京大学大学院保健社会行動学分野¹⁶)

【誌上発表】本邦の炎症性腸疾患患者における EB ウィルス感染状況に関する多施設共同研究

久松理一¹、三浦みき¹、清水泰岳²、新井勝大²、清水俊明³、岩間 達⁴、仲瀬裕志⁵(杏林大学医学部第三内科学¹、国立成育医療研究センター消化器科²、順天堂大学小児科・思春期科³、埼玉県立小児医療センター消化器・肝臓科⁴、札幌医科大学消化器内科⁵)

----- 17:00 終了予定 -----

事務局連絡
懇親会 (17:10~)

令和元年7月26日(金)

. 研究報告 (続)

10. 診断基準の改訂 (9:00~10:00)

総括 平井郁仁 福岡大学医学部 消化器内科 (10分)

潰瘍性大腸炎の臨床的重症度による分類の改定 進捗状況の報告

高津典孝¹、竹内 健²、長沼 誠³、大塚和朗⁴、渡辺憲治⁵、松本主之⁶、江崎幹宏⁷、小金井一隆⁸、杉田 昭⁹、畑 啓介¹⁰、二見喜太郎¹¹、味岡洋一¹²、田邊 寛¹³、岩下明德¹³、平井郁仁¹⁴(福岡大学筑紫病院 炎

症性腸疾患センター¹、辻仲病院柏の葉 消化器内科・IBD センター²、慶應義塾大学医学部 消化器内科³、東京医科歯科大学医学部附属病院 光学医療診療部⁴、兵庫医科大学 腸管病態解析学⁵、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野⁶、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部⁷、横浜市民市民病院 炎症性腸疾患科⁸、横浜市民市民病院 炎症性腸疾患センター⁹、東京大学大学院医学系研究科 腫瘍外科¹⁰、福岡大学筑紫病院 臨床医学研究センター（外科）¹¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野¹²、福岡大学筑紫病院 病理部¹³、福岡大学医学部 消化器内科¹⁴）

炎症性腸疾患の疾患活動性指標集の改定プロジェクト 進捗状況の報告

○岸 昌廣¹、高田康道²、別府剛志²、高津典孝¹、竹内 健³、鈴木康夫⁴、平井郁仁⁵（福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター¹、福岡大学筑紫病院 消化器内科²、辻仲病院柏の葉 消化器内科・IBD センター³、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター⁴、福岡大学医学部 消化器内科⁵）

クローン病に関連する癌サーベイランス法の確立に向けて

二見喜太郎¹・東 大二郎¹・平野由紀子¹、杉田 昭²・小金井一隆²、福島浩平³、舟山裕士⁴、池内浩基⁵、藤井久男⁶、板橋道朗⁷、畑 啓介⁸、楠 正人⁹・荒木俊光⁹、根津理一郎¹⁰、高橋賢一¹¹、水島恒和¹²、木村英明¹³、亀山仁史¹⁴、江崎幹宏¹⁵、平井郁仁¹⁶、渡辺憲治¹⁷、原岡誠司¹⁸、岩下明德¹⁸（福岡大学筑紫病院¹、横浜市民病院²、東北大学病院外科学³、仙台赤十字病院⁴、兵庫医大 IBD センター⁵、吉田病院⁶、東京女子医大 消化器外科⁷、東京大学腫瘍外科⁸、三重大学消化管・小児外科⁹、西宮市立中央病院¹⁰、東北労災病院外科¹¹、大阪大学消化器外科¹²、横浜市民立大学市民総合医療センター外科¹³、新潟大学消化器外科¹⁴、九州大学病態機能内科¹⁵、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター¹⁶、兵庫医科大学腸管病態解析学¹⁷）（福岡大学筑紫病院病理¹⁸）

Crohn 病に合併した直腸肛門管癌の surveillance program 確立の検討（痔瘻癌を含む）

- 作成 surveillance program の検証 -

杉田 昭¹、小金井一隆¹、二見喜太郎²、舟山裕士³、池内浩基⁴、根津理一郎⁵、板橋道朗⁶、水島恒和⁷、畑 啓介⁸、福島浩平⁹、楠 正人¹⁰、佐々木 巖¹¹（横浜市民市民病院炎症性腸疾患科¹、福岡大学筑紫病院外科²、仙台赤十字病院外科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学外科部門⁴、西宮市立中央病院外科⁵、東京女子医大消化器・一般外科⁶、大阪大学消化器外科⁷、東京大学大腸肛門外科⁸、東北大学分子病態外科⁹、三重大学消化管・小児外科学¹⁰、みやぎ健診プラザ¹¹）

潰瘍性大腸炎サーベイランス内視鏡における NBI と色素内視鏡の比較試験 Navigator Study 2：中間報告

渡辺憲治¹、猿田雅之²、斎藤彰一³、田尻久雄²、西山宗希⁴、岡 志郎⁴、田中信治⁴、味岡洋一⁵、嶋本文雄⁶、竹内 健⁷、鈴木康夫⁸、大宮直木⁹、藤井茂彦¹⁰、柿本一城¹¹、西下正和¹²、福知 工¹³、畑 啓介¹⁴、櫻井俊治¹⁵、榎田博史¹⁵、樋田信幸¹⁶、中村志郎¹⁶、平井郁仁¹⁷、松井敏幸¹⁸、岡本康治¹⁹、江崎幹宏²⁰、野崎良一²¹、浦岡俊夫²²、川野伶緒²³、斎藤 豊²⁴、池内浩基²⁵、岩男 泰²⁶、松本主之²⁷、工藤進英²⁸（兵庫医科大学腸管病態解析学¹、東京慈恵会医科大学消化器内科²、がん研究会有明病院下部消化管内科³、広島大学内視鏡診療科⁴、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子病態病理学⁵、広島修道大学健康科学部⁶、辻仲病院柏の葉消化器内科・IBD センター⁷、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁸、藤田医科大学消化管内科学⁹、京都桂病院消化器内科¹⁰、大阪医科大学第二内科¹¹、正啓会西下胃腸病院¹²、済生会中津病院消化器内科¹³、東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹⁴、近畿大学消化器内科¹⁵、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹⁶、福岡大学医学部消化器内科学講座¹⁷、福岡大学筑紫病院消化器内科¹⁸、九州大学病態機能内科学¹⁹、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部²⁰、高野会高野病院消化器内科²¹、群馬大学消化器・肝臓内科学²²、広島大学病院 総合医療研究推進センター²³、国立がん研究センター中央病院内視鏡科²⁴、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門²⁵、慶應義塾大学予防医療センター²⁶、岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野²⁷、昭和大学横浜市北部病院消化器センター²⁸）

【誌上発表】UC、CD、IBDU、IC における診断変遷症例の検討

岡崎和一¹、福井寿朗¹、深田憲将¹、大宮美香¹、吉岡和彦²、押谷伸英³、佐々木誠人⁴、飯塚政弘⁵、上野伸展⁶、余田篤⁷、平田一郎⁸、清水誠治⁹、平岡佐規子¹⁰、北村和哉¹¹、中野雅¹²、江崎幹宏¹³、久松理一¹⁴、長沼誠¹⁵、朝倉均¹⁶、飯田智哉¹⁷、仲瀬裕志¹⁷、本谷聡¹⁸、熊谷秀規¹⁹、砂田圭二郎²⁰、清水俊明²¹、福田勝之²²、鈴木英雄²³、長堀正和²⁴、吉村直樹²⁵、鈴木康夫²⁶、渡辺修²⁷、谷田諭史²⁸、小山文一²⁹、亀山仁史³⁰、花井洋行³¹、辻川知之³²、池内浩基³³、上野義隆³⁴、田中信治³⁴、平井郁仁³⁵、二見喜太郎³⁶、穂刈量太³⁷、藤井久男³⁸、北野厚生³⁹(関西医科大学内科学第三講座¹、関西医科大学総合医療センター消化管外科²、愛染橋病院³、愛知医科大学消化管内科⁴、秋田赤十字病院消化器内科⁵、旭川医科大学内科学講座 消化器・血液腫瘍制御内科学分野⁶、大阪医科大学小児科⁷、大阪中央病院⁸、大阪鉄道病院⁹、岡山大学病院炎症性腸疾患センター¹⁰、金沢大学附属病院消化器内科炎症性腸疾患センター¹¹、北里大学北里研究所病院消化器内科¹²、佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部¹³、杏林大学医学部第三内科学¹⁴、慶應義塾大学医学部消化器内科¹⁵、こうかんクリニック¹⁶、札幌医科大学消化器内科学講座¹⁷、JA 北海道厚生連札幌厚生病院 IBD センター¹⁸、自治医科大学小児科学¹⁹、自治医科大学消化器内科²⁰、順天堂大学医学部小児科学教室²¹、聖路加国際病院消化器内科²²、筑波大学附属病院消化器内科²³、東京医科歯科大学消化器内科²⁴、東京山手メディカルセンター炎症性腸疾患センター²⁵、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター²⁶、名古屋大学消化器内科学²⁷、名古屋市立大学消化器内科²⁸、奈良県立医科大学附属病院中央内視鏡部²⁹、新潟大学消化器・一般外科³⁰、浜松南病院消化器病・IBD センター³¹、国立病院機構東近江総合医療センター³²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学外科部門³³、広島大学病院内視鏡診療科³⁴、福岡大学医学部消化器内科³⁵、福岡大学筑紫病院外科³⁶、防衛医科大学校消化器内科³⁷、平和会吉田病院消化器内視鏡・IBD センター³⁸、若草第一病院³⁹)

【誌上発表】クローン病術後再発評価に関するカプセル内視鏡評価の意義 前向きコホート研究

江崎幹宏¹、松本主之²、鳥巢剛弘³、梅野淳嗣³、平野敦士³、冬野雄太³、平井郁仁⁴、岸昌廣⁵、二見喜太郎⁶、中村志郎⁷、池内浩基⁸、渡辺憲治⁹、大宮直木¹⁰、中村正直¹¹、内藤裕二¹²、仲瀬裕志¹³、山本修司¹⁴、藤谷幹浩¹⁵、志賀永嗣¹⁶、大森鉄平¹⁷、飯島英樹¹⁸、平岡佐規子¹⁹、蔵原晃一²⁰、金城徹²¹、金城福則²²、芦塚伸也²³、山本章二郎²⁴、竹島史直²⁵、光山慶一²⁶、猿田雅之²⁷、石川大²⁸、澁谷智義²⁸、桜庭裕丈²⁹、小山文一³⁰、久松理一³¹、細江直樹³²、緒方晴彦³²、長沼誠³³、金井隆典³³、小林拓³⁴、日比紀文³⁴、長堀正和³⁵、渡辺守³⁵、竹内健³⁶、杉田昭³⁷、松岡克善³⁸、鈴木康夫³⁹(佐賀大学医学部附属病院光学医療診療部¹、岩手医科大学内科学講座消化器消化管分野²、九州大学病態機能内科学³、福岡大学医学部消化器内科⁴、福岡大学筑紫病院炎症性腸疾患センター⁵、福岡大学筑紫病院外科⁶、兵庫医科大学内科炎症性腸疾患学講座内科部門⁷、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座外科部門⁸、兵庫医科大学腸管病態解析学⁹、藤田保健衛生大学消化管内科¹⁰、名古屋大学大学院医学研究科消化器内科学¹¹、京都府立医科大学大学院医学研究科消化器内科学¹²、札幌医科大学医学部消化器内科学¹³、京都大学医学部消化器内科¹⁴、旭川医科大学内科学講座消化器・血液腫瘍制御内科学¹⁵、東北大学病院消化器内科¹⁶、東京女子医科大学消化器病センター¹⁷、大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学¹⁸、岡山大学病院消化器内科¹⁹、松山赤十字病院胃腸センター²⁰、琉球大学医学部附属病院光学医療診療部²¹、浦添総合病院²²、宮崎大学医学部内科学講座循環体液制御分野²³、宮崎大学医学部内科学講座消化器血液学分野²⁴、長崎大学医学部消化器内科²⁵、久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門²⁶、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科²⁷、順天堂大学医学部消化器内科学講座²⁸、弘前大学消化器血液内科学講座²⁹、奈良県立医科大学消化器・総合外科³⁰、杏林大学医学部第三内科学³¹、慶應義塾大学医学部内視鏡センター³²、慶應義塾大学医学部消化器内科³³、北里大学研究所病院 IBD センター³⁴、東京医科歯科大学消化器内科³⁵、辻仲良病院柏の葉消化器内科・IBD センター³⁶、横浜私立市民病院炎症性腸疾患科³⁷、東邦大学医療センター佐倉病院³⁸、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター³⁹)

【誌上発表】潰瘍性大腸炎に対する癌サーベイランス法の確立-Target vs Random 生検のランダム化比較試験のフォローアップスタディー

畑啓介¹、石原聡一郎¹、味岡洋一²、安藤朗³、池内浩基⁴、岡崎和一⁵、緒方晴彦⁶、金井隆典⁷、猿田雅之⁸、清水俊明⁹、杉田昭¹⁰、仲瀬裕志¹¹、中野雅¹²、中村志郎¹³、長堀正和¹⁴、西脇祐司¹⁵、久松理一¹⁶、平井郁仁¹⁷、福島浩平¹⁸、二見喜太郎¹⁹、穂刈量太²⁰、松岡克善²¹、松本主之²²、鎌田紀子²³、光山慶一²⁴、花井洋行²⁵、国崎玲子²⁶、山本修司²⁷、坂田資尚²⁸、樋田信幸¹³、渡辺憲治²⁹、田中信治³⁰、竹内義明³¹、

小形典之³²、盛一健太郎³³、石黒 陽³⁴、村上和成³⁵、小林清典³⁶、石橋英樹³⁷、山川良一³⁸、小山文一³⁹、本谷 聡⁴⁰、岩男 泰⁴¹、上野文昭⁴²、吉田篤史⁴³、原田直彦⁴⁴、小野川靖二⁴⁵、平井郁仁⁴⁶、佐々木 優⁴⁷、横山正⁴⁸、松田圭二⁴⁹、相場恒男⁵⁰、杉村一仁⁵¹、篠崎 大⁵²、日比紀文⁵³、渡辺 守⁵⁴、鈴木康夫⁵⁵ (東京大学大学院医学系研究科腫瘍外科¹、新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野²、滋賀医科大学消化器内科³、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座⁴、関西医科大学内科学第三講座(消化器肝臓内科)⁵、慶應義塾大学医学部内視鏡センター⁶、慶應義塾大学医学部消化器内科⁷、東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科⁸、順天堂大学医学部小児科学教室⁹、横浜市立市民病院炎症性腸疾患科¹⁰、札幌医科大学医学部消化器内科学講座¹¹、北里大学北里研究所病院消化器内科¹²、兵庫医科大学炎症性腸疾患学講座内科部門¹³、東京医科歯科大学医学部附属病院臨床試験管理センター¹⁴、東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野¹⁵、杏林大学医学部消化器内科学¹⁶、福岡大学医学部消化器内科¹⁷、東北大学大学院医工学研究科消化管再建医工学分野¹⁸、福岡大学筑紫病院外科¹⁹、防衛医科大学校消化器内科²⁰、ても t²¹、岩手医科大学医学部内科学講座消化器内科消化管分野²²、大阪市立大医学部附属病院消化器内科²³、久留米大学医学部消化器内科炎症性腸疾患センター²⁴、浜松南病院消化器内科²⁵、横浜市立大学附属市民総合医療センター炎症性腸疾患(IBD)センター²⁶、京都大学医学部附属病院消化器内科²⁷、佐賀大学医学部附属病院消化器内科²⁸、兵庫医科大学病院腸管病態解析学²⁹、広島大学病院内視鏡診療科³⁰、昭和大学病院消化器内科³¹、昭和大学横浜市北部病院消化器センター³²、旭川医科大学病院消化器内科³³、弘前病院消化器・血液内科³⁴、大分大学医学部附属病院消化器内科³⁵、北里大学病院消化器内科³⁶、福岡大学消化器内科³⁷、下越病院消化器内科³⁸、奈良県立医科大学消化器・総合外科³⁹、札幌厚生病院消化器内科(IBD センター)⁴⁰、慶應義塾大学病院消化器内科(予防医療センター)⁴¹、大船中央病院消化器・ IBD センター⁴²、大船中央病院光学診療部⁴³、九州医療センター消化器内科⁴⁴、尾道総合病院消化器内科⁴⁵、福岡大学筑紫病院消化器内科(炎症性腸疾患センター)⁴⁶、社会保険田川病院消化器内科⁴⁷、よこやま IBD クリニック消化器外科⁴⁸、帝京大学医学部附属病院外科⁴⁹、新潟市民病院消化器内科⁵⁰、杉村クリニック⁵¹、東京大学医科学研究所外科⁵²、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先進治療(IBD)センター⁵³、東京医科歯科大学⁵⁴、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター⁵⁵)

11. バイオマーカーと創薬に関するプロジェクト (10:00~10:40)

総括 金井隆典 慶應義塾大学医学部 消化器内科 (10分)

創薬を目指したクローン病を対象とした ガラクシドセラミド類縁物 OCH の臨床第 I/II 相試験

金井隆典¹、長沼 誠¹、三上洋平¹、筋野智久¹、緒方晴彦²、岩男 泰³、(慶應義塾大学医学部消化器内科¹、同内視鏡センター²、同予防医療センター²)

培養腸上皮幹細胞を用いた炎症性腸疾患に対する再生医療の開発

岡本隆一^{1,2}、清水寛路¹、鈴木康平^{1,3}、高橋純一¹、川井麻央¹、平栗優衣¹、竹岡さや香¹、杉原ハヂイ優樹¹、永田紗矢香¹、竹中健人¹、齋藤詠子¹、福田将義^{1,3}、藤井俊光¹、長堀正和¹、油井史郎^{1,2}、土屋輝一郎¹、大塚和朗^{1,3}、渡辺 守⁴ (東京医科歯科大学消化器内科¹、東京医科歯科大学再生医療研究センター²、東京医科歯科大学光学医療診療部³、東京医科歯科大学高等研究院⁴)

潰瘍性大腸炎に対する便中バイオマーカーの内視鏡的寛解および予後予測に対する診断能を検証する多施設共同試験

金井隆典¹、長沼 誠¹、小林 拓²、本谷 聡³、加藤真吾⁴、松岡克善⁵、穂苅量太⁶、山本博徳⁷、佐々木 誠⁸、渡辺憲治⁹、飯島英樹¹⁰、遠藤 豊¹¹、市川仁志¹²、谷田諭史¹³、藤谷幹浩¹⁴、酒匂美奈子¹⁵、阿部貴行¹⁶、鈴木康夫¹⁷ (慶應義塾大学消化器内科¹、北里大学北里研究所病院炎症性腸疾患先端医療センター²、札幌厚生病院消化器内科 IBD センター³、埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科⁴、東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科⁵、防衛医科大学校内科学講座⁶、自治医科大学消化器内科⁷、愛知医科大学消化管内科⁸、兵庫医科大学炎症性腸疾患内科⁹、大阪大学消化器内科¹⁰、大船中央病院消化器・ IBD センター¹¹、東海大学八王子病院消化器内科¹²、名古屋市立大学消化器・代謝内科¹³、旭川医科大学消化器・血液腫瘍制御学¹⁴、東京山手メディカルセンター炎症性腸疾患内科¹⁵、横浜市立大学データサイエンス学部¹⁶、東邦大学医療

センター佐倉病院 IBD センター¹⁷⁾

【誌上発表】潰瘍性大腸炎に対する血球成分除去療法の治療効果予測因子としての温感の意義とそのメカニズムとしての皮膚血流量の解析

飯塚政弘^{1, 2)}、衛藤 武¹⁾、相良志穂²⁾、熊谷 誠³⁾ (秋田赤十字病院 消化器内科¹⁾、秋田赤十字病院 附属あきた健康管理センター²⁾、秋田赤十字病院 医療技術部³⁾)

12. IBD の遺伝子解析プロジェクト (10 : 40 ~ 11 : 10)

総括 松本主之 岩手医科大学医学部内科学講座 消化器内科消化管分野 (10 分)

腸管ペーチェット病および単純性潰瘍における Genome Wide Association Study (GWAS)

冬野雄太¹⁾、平野敦士¹⁾、梅野淳嗣¹⁾、江崎幹宏²⁾、角田洋一³⁾、仲瀬裕志⁴⁾、久松理一⁵⁾、櫻庭裕丈⁶⁾、国崎玲子⁷⁾、平井郁仁⁸⁾、猿田雅之⁹⁾、松本主之¹⁰⁾ (九州大学大学院 病態機能内科学¹⁾、佐賀大学医学部附属病院 光学医療診療部²⁾、東北大学 消化器内科³⁾、札幌医科大学 消化器内科学講座⁴⁾、杏林大学医学部 第三内科学⁵⁾、弘前大学大学院 消化器血液内科学講座⁶⁾、横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター⁷⁾、福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター⁸⁾、東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科⁹⁾、岩手医科大学 内科学講座 消化器内科消化管分野¹⁰⁾)

NUDT15 遺伝子型に基づき最適化された安全かつ有効的なチオプリンによる免疫調節療法の開発 ヘテロ症例の検討及び妊婦版 MENDEL Study

角田洋一¹⁾、志賀永嗣¹⁾、木内喜孝²⁾、河原真大³⁾、安藤 朗³⁾、高川哲也⁴⁾、樋田信幸⁴⁾、渡辺憲治⁴⁾、中村志郎⁴⁾、遠藤克哉⁵⁾、新堀哲也⁶⁾、正宗 淳¹⁾、鈴木康夫⁷⁾ (東北大学病院 消化器内科¹⁾、東北大学高度教養教育・学生支援機構 臨床医学開発室²⁾、滋賀医科大学 消化器・血液内科³⁾、兵庫医科大学 炎症性腸疾患学講座⁴⁾、東北医科薬科大学医学部内科学第二⁵⁾、東北大学病院 遺伝科⁶⁾、東邦大学医療センター佐倉病院 IBD センター⁷⁾)

----- 11 : 10 終了予定 -----

閉会挨拶
事務局連絡